PIONEER®

音と光の未来をひらく

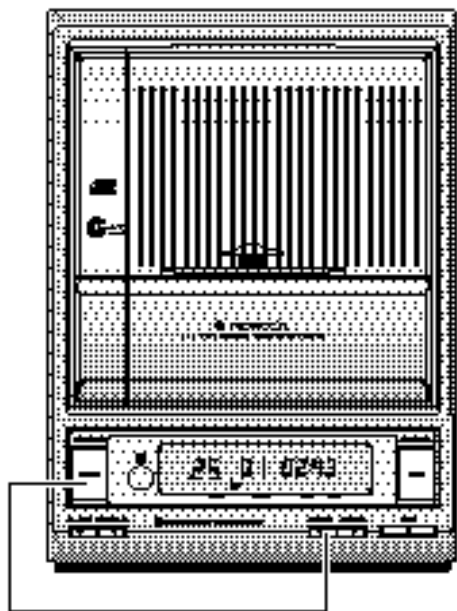
取扱説明書

ファイルタイプコンパクトディスクプレーヤー

PD-F25A

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。**特に付属及び本書の「安全上のご注意」は、必ずお読みください。**

お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

パワーオンデモ表示

パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示を見ることができます。

パワーオンデモ表示にするには、電源を入れてから**約1秒以内**に |◀◀・◀◀ ボタンを押してください。パワーオンデモ表示を解除するには、いずれかのボタンを押してください。

停止ボタンを押すとプログラムが解除されます。

操作の前に

基本操作

応用操作

その他

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

高調波ガイドライン適合品

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

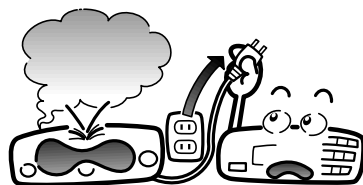
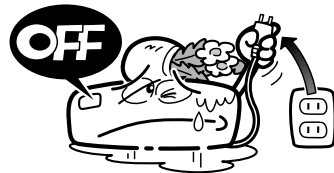
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意 （付属の「安全上のご注意」もお読みください）

⚠警告

〔異常時の処置〕

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

お使いになる前に

こんなことができます

1 25枚のCD（約300曲）の中から聴きたい曲をいつでもワンタッチプレイ。 P.10

ボタンひとつで曲のメモリー、再生が可能なベストセレクション機能を搭載（25曲メモリー可能）

2 聴きたいディスクに簡単アクセス。 P.13

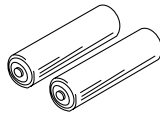
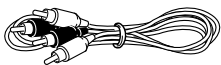
最後に聴いたディスクからその前に聴いていたディスクへと次々にスキャンしていくプリビアスディスクスキャン機能（最後に聴いていたディスクから25枚までをオートメモリー）

3 ディスクごとの音量差を自動的にレベルコントロール。 P.11

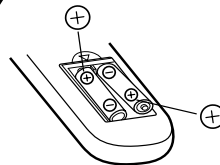
ディスクごとに違う演奏音量を、ボタンひとつで自動的に調整し聞きやすくするADLC機能搭載

付属品を確認しよう

- リモートコントロールユニット×１

- 単3形乾電池 (R6P) ×2

- ピンプラグ付接続コード×１

- 保証書
- サービスネットワーク
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意

リモコンに電池を入れよう。

1 裏ぶたを矢印の方向に引き上げて取りはずします。

2 内部の表示（⊕、⊖)のとおりに単３形乾電池 (R6P) を入れます。

（必ず指定の乾電池を使用してください）

3 裏ぶたを矢印の方向に押し込んで取りつけます。

注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

- 乾電池のプラス（⊕）とマイナス（⊖）の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

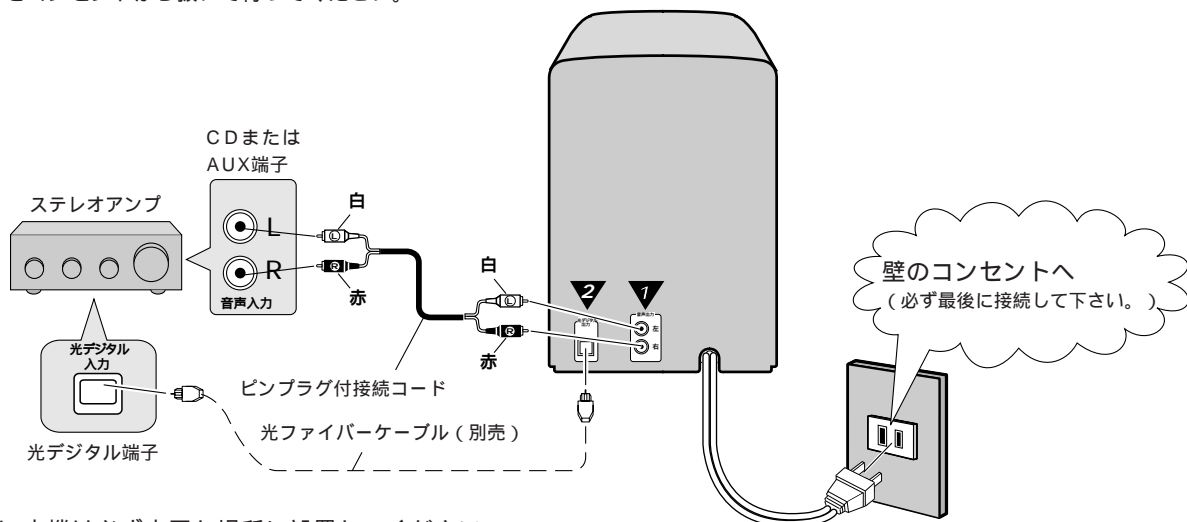
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

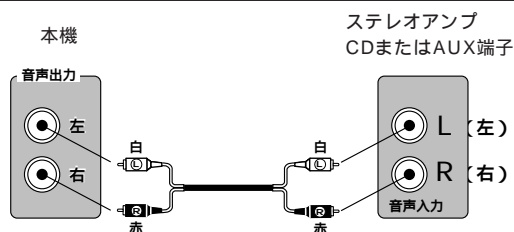
通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

接続のしかた

● 機器の接続を行なう場合、あるいは変更を行う場合は、ディスクをすべて取り出した状態で必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

＊ 本機は必ず水平な場所に設置してください。

ピンプラグ付接続コードの接続

付属のピンプラグ付接続コードをつないでください。

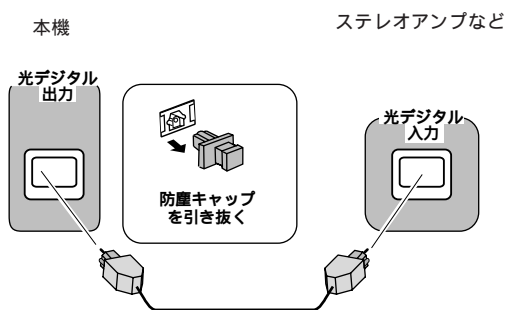
ステレオアンプのレコードプレーヤー用入力端子(PHONO)には絶対に接続しないでください。

光デジタル端子の接続

光デジタル入力端子のあるステレオアンプ、DAT、MDなどと接続します。

1.光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜きます。

2.光デジタル出力端子と接続する機器の光デジタル入力端子を光ファイバーケーブルでつなぎます。

● 光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかりと差し込みます。

光デジタル端子の接続には、別売の光ファイバーケーブルを使いますが、本機と同じ形状の光デジタル端子を使用している機器だけが接続できます。

＜パイオニアシステムコンポーネントFXシリーズのリモコンを使用するには＞

FXシリーズのシステムリモコンを使用するときは、本機のストップボタンを押しながら電源コードをコンセントに差し込んでください。本体の表示部に " REMOTE:2 " と表示され、"CD　C." モードでのFXシリーズのシステムリモコンに対応したことを示します。またこの場合でも本機付属のリモコンをご利用することができます。

● FXシリーズのシステムリモコンでの電源の ON／OFF、オートファンクション機能、スリープ機能は、ご使用になれません。
● FXシリーズへの接続は、ピンプラグ付接続コードで外部入力端子につないだ場合は、FXシリーズのファンクションを "A.AUX" にし、光ファイバーケーブルで光デジタル端子に接続した場合は、"D.AUX" のファンクションでご使用ください。(詳しくは、FXシリーズの取扱説明書をお読みください。)また、FXシリーズのシステムリモコンを操作したときに本機が動作してしまう場合があります。このようなときには、本機の電源を切りスタンバイ状態にしてご使用ください。

各部のなまえを知っておこう

本体部

P.□ は参照ページをあらわしています。

フード P.7
フードを開けるとラックが出てきます。

取手部 P.7

ラック P.7

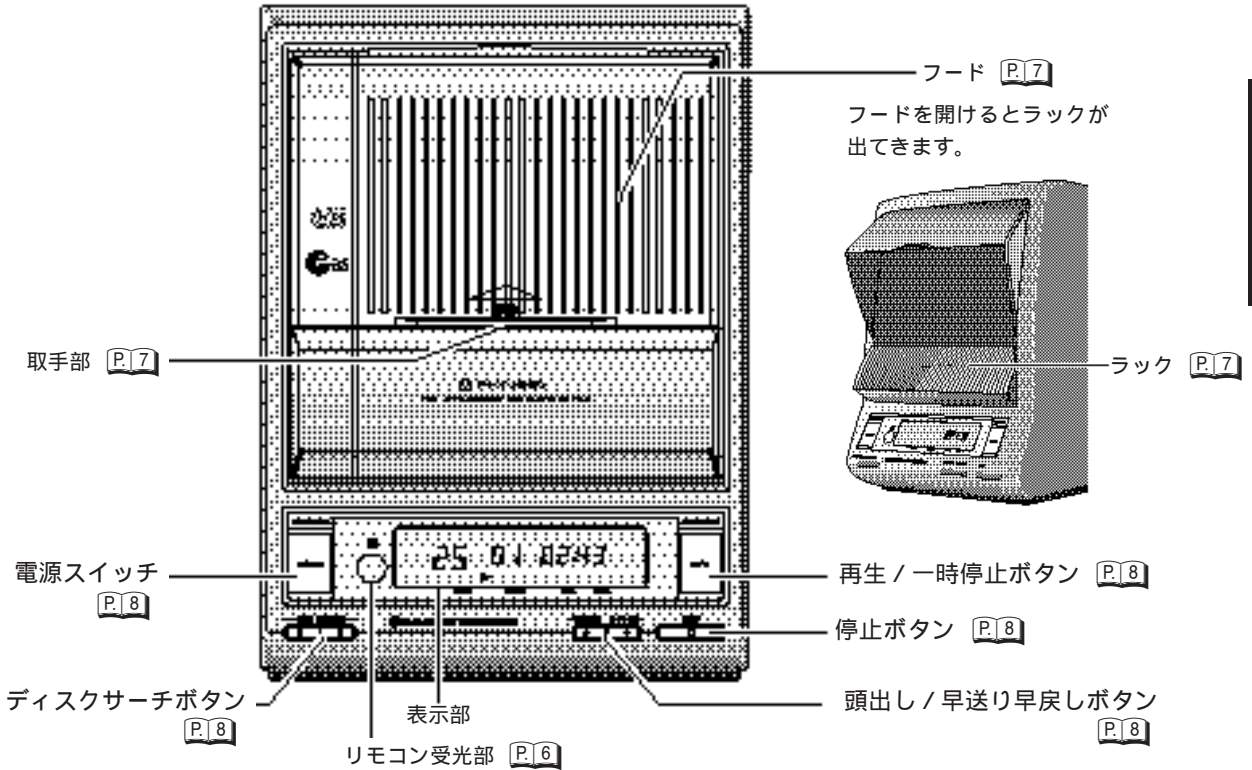
電源スイッチ P.8

再生／一時停止ボタン P.8

停止ボタン P.8

ディスクサーチボタン P.8

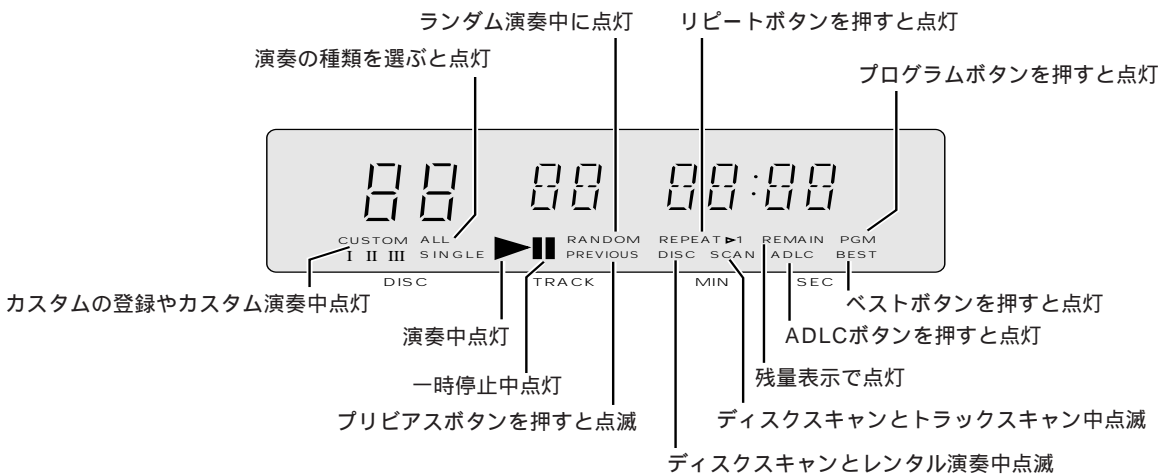
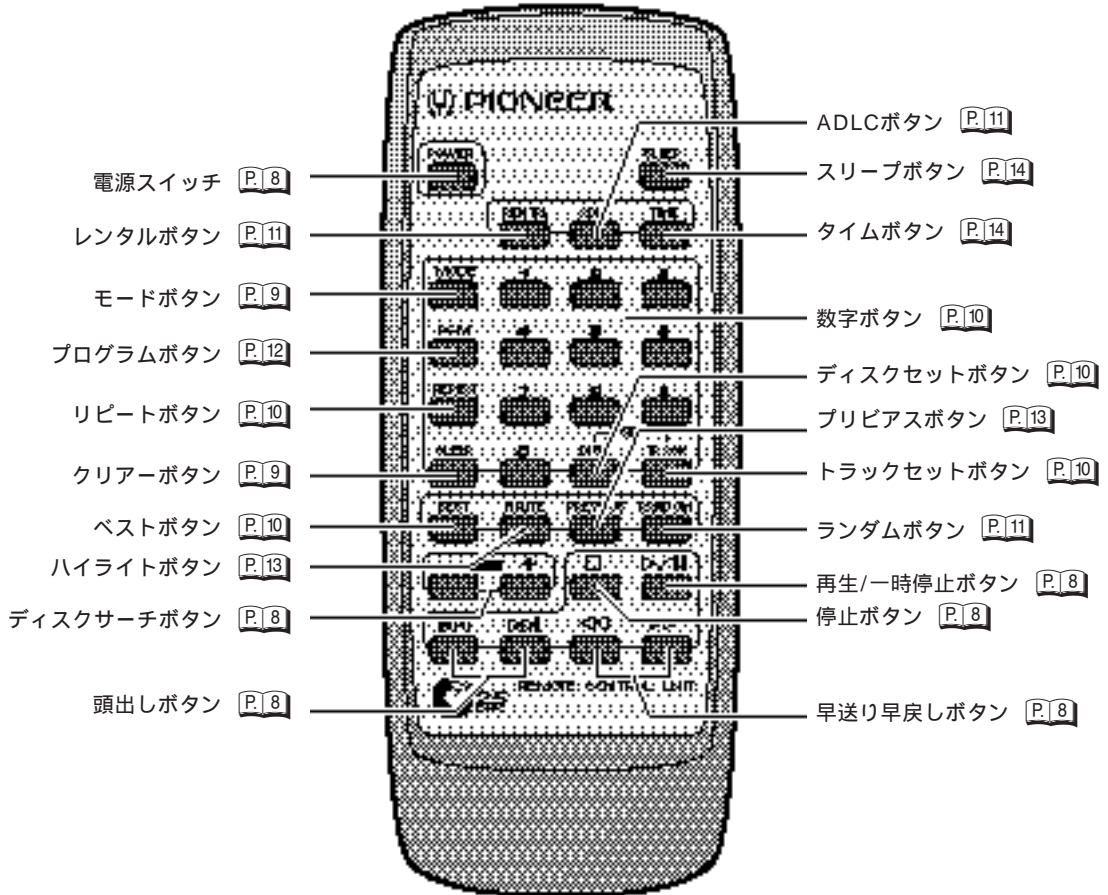
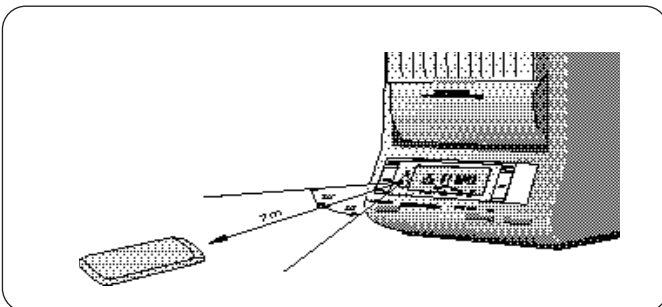
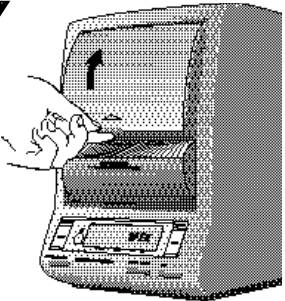
表示部

頭出し／早送り早戻しボタン P.8

リモコン受光部 P.6

表示部

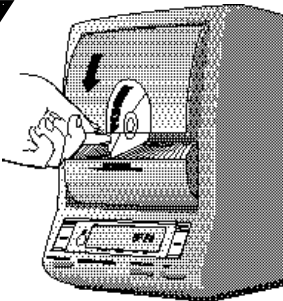
リモートコントロールユニット（リモコン）

電源スイッチ P.8
レンタルボタン P.11
モードボタン P.9
プログラムボタン P.12
リピートボタン P.10
クリアーボタン P.9
ベストボタン P.10
ハイライトボタン P.13
ディスクサーチボタン P.8
頭出しボタン P.8

ADLCボタン P.11
スリープボタン P.14
タイムボタン P.14
数字ボタン P.10
ディスクセットボタン P.10
プリビアスボタン P.13
トラックセットボタン P.10
ランダムボタン P.11
再生/一時停止ボタン P.8
停止ボタン P.8
早送り早戻しボタン P.8

リモコン操作範囲

● 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所をかえるか、蛍光灯を離してください。

ディスクの入れかた（操作する前に必ずお読みください。）

1

取手部に手をかけてフードを開ける。

↓

ラックが出てきます。

2

レーベル面（印刷面）を右側にしてディスクを入れる。

3

取手部に手をかけてフードを閉じる。

注意：
フードが開いていると演奏できません。

ディスクを取り出すには…

1 停止中にフードを開ける。（停止中以外は絶対にフードを開けないでください。）

2 ラックからディスクを取り出す。

注意

- ラックには25枚のディスクを入れることができます。ディスクの挿着溝は左端から連番化されています。
- ディスクのレーベル面が左側で挿入されていると再生されません。必ずレーベル面を右側にしてください。
- ディスク挿着溝には、1枚ずつディスクを入れてください。
- 1つのディスク挿着溝にディスクを2枚以上入れるとディスクを傷つけたり、故障の原因となります。
- ラック等プレーヤー内にはディスク以外のものを入れないでください。
- 8cmCD用アダプターは使用しないでください。
- ラックに12cmCDと8cmCDを交互に入れるとディスク交換のときに8cmCDが取りずらくなります。
  12cmCDは左から8cmCDは右から入れるような方法をおすすめします。

注意してください

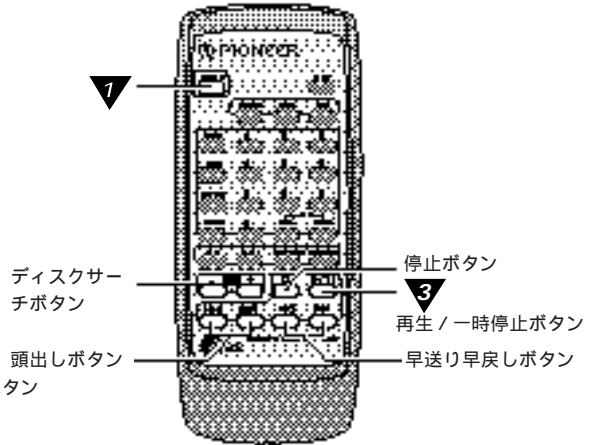
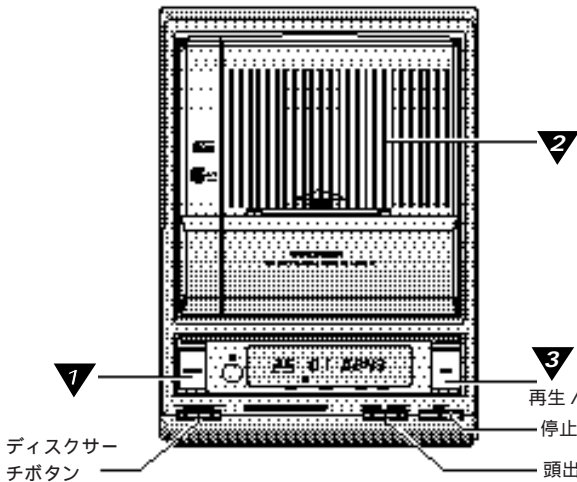
- 演奏中やディスクサーチ中および演奏終了後約10秒間はフードを開けることができません。
  上記の場合にフードを開けようとすると、“**LOCK**”表示が点滅しますので、すみやかにフードを閉めてください。フードを開ける場合は演奏を終了 P.8 させ、“**LOCK**”表示が消えてから行ってください。

- 故障の原因となりますので、本機を移動するときは、ラック内のディスクはすべて取り出し、電源スイッチをオフ（スタンバイ）にして電源コードを抜いてから行ってください。

- 無理にフードを開けると故障の原因となります。またフードの開閉はゆっくり動かしてください。

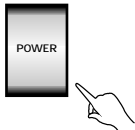
- フードを開閉するとき、指をはさまないようにご注意ください。
  また製品内部には絶対に手や物を入れないでください。

- フードが開いている間は操作できません。閉めた状態でご使用ください。

基本操作

1曲目から順番に聞くとき

（リモコンでも操作できます）

1 電源スイッチを押す。

表示部が点灯して、"HELLO"が数秒間表示されます。

電源を切るときは…

もう一度電源スイッチを押します。表示部に " OFF " が表示され、数秒後に消灯します。

2 ラックにディスクを入れる。

P. 7

⬇

フードを閉じる。

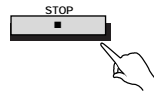
● フードが開いていると演奏できません。

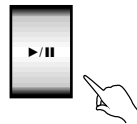
● 1つのディスク挿着溝にディスクを2枚以上入れるとディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

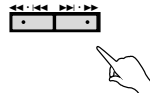
3 再生／一時停止ボタンを押す。

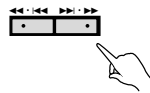
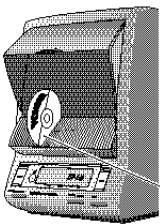
ディスク番号の小さなディスクの1曲目から順に再生していきます。

● あらかじめ演奏モード P. 9 を選択すると、各モードに応じた演奏ができます。

演奏をやめるには

停止ボタンを押す。

一時停止するには

再生／一時停止ボタンを押す。もう一度押すと再生をはじめます。

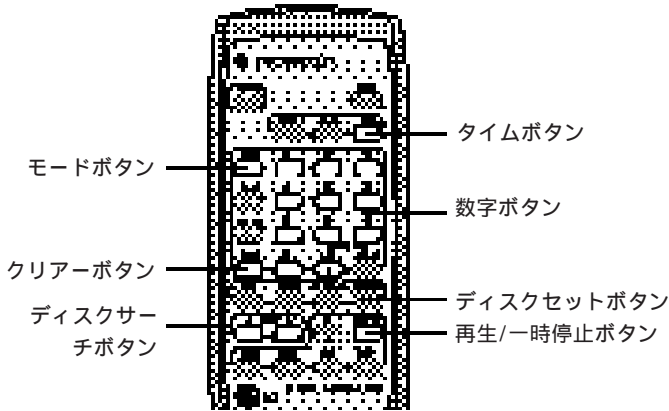
曲の頭出しをするには

頭出し／早送り早戻しボタンを "ポン" と押す。（リモコンは頭出しボタン）

早送り、早戻しをするには

頭出し／早送り早戻しボタンを押し続ける。（リモコンは早送り早戻しボタン）

希望のディスクから演奏する

演奏中にディスクサーチボタンで、ディスク番号を選ぶ。停止中か一時停止中に選ぶときは、さらに再生／一時停止ボタンを押す。

<ラストディスクメモリー>

停止ボタンを押すか電源を切ると、本機は演奏を停止したディスクをメモリーします。再び再生／一時停止ボタンを押すと前に演奏したディスクから演奏します。

応用操作

演奏の種類(モード)を選ぶ

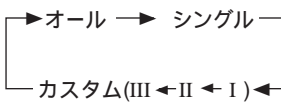
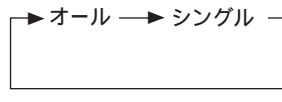
停止中か演奏中にモードボタンを押す。

- 押すたびに希望のモードが選べます。
- 選ばれたモードで演奏ができます。

[停止中]

→オール → シングル → カスタム(III ← II ← I) →（オールへ戻る）

[演奏中]

→オール → シングル →（オールへ戻る）

オール（ALL）　　　：全てのディスクの演奏
シングル（SINGLE）：ディスク１枚のみの演奏
カスタム(CUSTOM)：カスタムに登録したディスクを演奏

- 演奏中にシングルモードを選んだ場合、現在演奏しているディスクのみの演奏を行います。
- プログラムモードでモードボタンを押すと、プログラム内容は解除されます。

- 電源を入れると最後に選ばれたモードで演奏が始まります。
- 演奏モードを選択しなければ、オールモードで演奏が始まります。

聞きたいディスクだけ登録して演奏

お好きなアーティストや自分専用のディスクだけを登録しておくと、登録したディスクのみ演奏することができます。

- 本機ではお買い求めいただいたときには、下記の内容でカスタム登録されています。新規に登録するときは、はじめにクリアーボタンを押して、すでに登録してあるカスタムの内容を取り消してください。（この操作をしないと、追加登録となります。）

カスタム I	ディスク番号　1 番から 10 番
カスタム II	ディスク番号 11 番から 20 番
カスタム III	ディスク番号 21 番から 25 番

- 電源コードを抜くと、カスタムに登録した内容は、上記内容に戻ります。

演奏するには

モードボタンでカスタムを選ぶ。

↓

再生/一時停止ボタンを押す。

- ディスク番号の小さな順に演奏します。（登録した順番ではありません。）

聞きたいディスクを新規(追加)登録するには

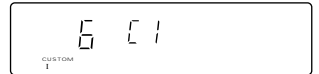
（例としてカスタムII にディスクを登録する場合）

1. 停止中にモードボタンを何回か押して、表示部のカスタムIIインジケーターを点灯させる。
   ↓
2. クリアーボタンを押す。
   （追加登録される場合はこの操作は不要です。）
   ↓
3. 数字ボタンでディスク番号を選ぶ。
   ↓
4. ディスクセットボタンを押す。
   ↓
5. 手順の操作3と4を繰り返して、他のディスクも登録する。

- 操作3と4の代わりに、ディスクサーチボタンでディスク番号を選んだ後、登録されるまで2秒間待つという登録方法もあります。
- 登録のときに、カスタムで指定したディスクがラックに入っていない場合は、"＊＊ no dＩＳC"を約3秒間表示したのち、そのディスクの登録は消え、次のディスクに替わります。（＊＊はディスク番号の数字です）

登録したディスクを確認するには

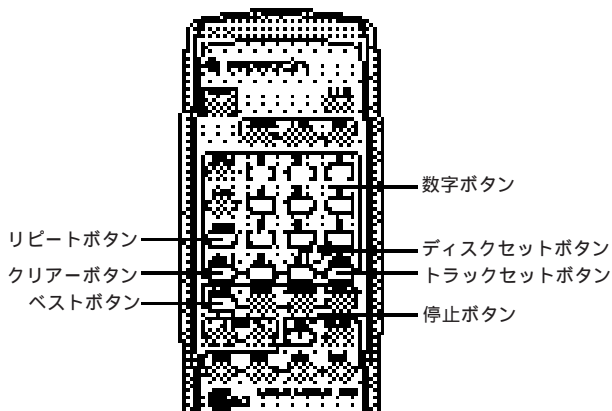
カスタム演奏の停止中に、タイムボタンを何回か押して、**トータル表示**（下図を参考）にします。次にディスクサーチボタンを押します。ディスクサーチボタンを押すたびに、登録したディスク番号を表示します。すべてのディスク番号を表示するとディスク番号は表示しなくなります。

トータル表示

（カスタムI に、ディスク番号6が登録されている例）

カスタムに登録した内容を取り消すには

モードボタンを押し、カスタムに合わせます。その後、クリアーボタンを押します。

- カスタムに登録したディスク内容を変更することはできません。また、一枚だけの削除もできません。

- カスタム演奏中にディスクサーチボタンを押すと、カスタムに登録したディスクの範囲で、演奏ディスクが替わります。
- カスタム演奏中に、リモコンの数字ボタンやディスクセットボタンでカスタムに登録したディスク以外を選んだ場合、" ＊＊ no dＩＳC " を約3秒間表示します。（＊＊はディスク番号の数字です）
- カスタムに登録した内容は、電源をオフにしても消えません。
- フードが開いていると、ディスクサーチボタンでは、カスタムの登録はできません。

ディスクおよび曲番号を選ぶ

数字ボタンでディスク番号を選ぶ。

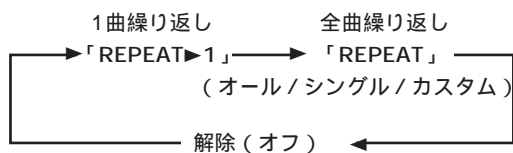
ディスクセットボタンを押す。

数字ボタンで曲番号を選ぶ。

トラックセットボタンを押す。

- ディスクセットボタンやトラックセットボタンは、数字ボタンを押してから5秒以内に押してください。
- 指定した番号にディスクが入っていない場合は、"＊＊ｎｏｄＩＳＣ" と3秒間表示します。（＊＊は、ディスク番号の数字です）

繰り返し演奏する

演奏中にリピートボタンを押す。
押すたびに切り換ります。

〔１曲繰り返し〕
通常演奏、ランダム演奏、プログラム演奏を問わず、現在演奏中またはこれから選曲されようとしている曲を繰り返し演奏します。

〔全曲繰り返し〕
演奏モード により次の3通りの動作となります。
P.9

オール（ALL）：
全ディスク（１〜２５）の全曲を繰り返し演奏します。

シングル（SINGLE）：
選択したディスク１枚の全曲を繰り返し演奏します。

カスタム（CUSTOM）：
登録した全てのディスクの全曲を繰り返し演奏します。

〔解除（オフ）〕
繰り返し演奏を中止して通常演奏になります。

- 演奏をやめるときは、停止ボタンを押します。
- ハイライトスキャンまたはプリビアスディスクスキャン 中は、「1曲繰り返し」はできません。
P.13

好きな曲だけをメモリーする

演奏されている曲を覚えていたいときに、ボタンひとつでメモリーできる機能を、ベストセレクションメモリーといいます。最大25曲までメモリーできます。

メモリーするには

BEST

好みの曲を演奏しているときにベストボタンを押す。
“BEST”インジケーターが点滅してディスク番号、曲番号がメモリーされます。

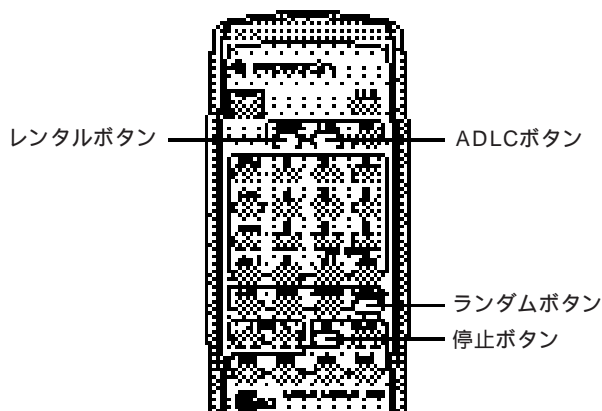
メモリーした曲を聞くには

BEST

停止中にベストボタンを押す。
“BEST”インジケーターが点灯します。
新しく登録した曲から順に演奏します。

解除するには

ベストセレクションメモリー演奏中にクリアーボタンを押す。
演奏中の曲のメモリーが解除され、次の曲を演奏します。

- ベストセレクションメモリー演奏中さらに、ベストセレクションメモリーすることはできません。
- メモリー内容は電源がオフ（スタンバイ状態）のときでも保持されます。
- ２５曲メモリーしているときにベストボタンを押してメモリーすると、メモリーの一番古い曲がメモリーから消され新しい曲がメモリーされます。

順不同な曲順で演奏する

演奏モードに応じてセットしたディスクに収録されている曲の中から、演奏する順番を勝手に選んでランダムに演奏します。

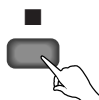
ランダム演奏をするには

RANDOM

演奏中または停止中にランダムボタンを押す。

- "RANDOM"インジケーターが点灯し、選んだ演奏の種類でランダム演奏が始まります。
- 規定の演奏が終わると停止します。

選択された演奏モード	演奏内容
オール(ALL)	全ディスク（1～25）で最大100曲のランダム演奏。
シングル(SINGLE)	ディスク1枚で全曲ランダム演奏。
カスタム(CUSTOM)	カスタムに登録した全てのディスクの中から最大25曲のランダム演奏。

ランダム演奏をやめるには

停止ボタンを押す。

注意

- プログラム演奏を、さらにランダム演奏することはできません。（プログラム演奏のときにランダムボタンを押すと、プログラム演奏は解除され、オールモードランダム演奏になります。）
- オールモードでディスクが25枚入っていないときは、同じ曲が演奏されることがあります。
- ランダム演奏時にリピートボタンを押すと、選択された演奏モードの内容を繰り返し演奏します。（ランダムリピート）
- ランダム演奏中に数字ボタン、ディスクサーチボタンを押すと、ランダム演奏は解除されます。
- ランダム演奏時にモードボタンを押すと、選択されたモードでランダム演奏します。
- オールモードでランダム演奏を行うとき、すべてのディスクですべての曲を演奏すると、総演奏曲数が100曲に満たなくてもランダム演奏を終了します。

ディスクの1曲目だけを続けて演奏

ディスクの最初の1曲目だけを続けて演奏することをレンタル演奏といい、シングルCDなどのヒットソングの演奏に適します。

- 演奏の種類 P. 9 を選択すると、下記の内容でレンタル演奏します。

選択された演奏モード	演奏内容
オール(ALL) *	全てのディスク（1～25）の最初の1曲目を続けて演奏。
シングル(SINGLE) *	
カスタム(CUSTOM)	カスタムに登録した全てのディスクの最初の1曲目を続けて演奏。

＊オール、シングルにかかわらず、全てのディスクのレンタル演奏をします。

レンタル演奏をするには

RENTAL

演奏中または停止中にレンタルボタンを押す。

- オール、シングルでは、それぞれのインジケーターが消灯し、"DISC" インジケーターが点滅してレンタル演奏が始まります。
- ディスク番号の小さな順に最初の1曲目を次々演奏します。
- 演奏を開始するディスク番号を選ぶには、停止中にディスクサーチボタンまたは数字ボタンでディスク番号を選び、その後レンタルボタンを押します。

レンタル演奏をやめるには

停止ボタンを押す。

- プログラム演奏、ランダム演奏、ベスト演奏、プリビアスディスクスキャン、ハイライトスキャン中にレンタルボタンを押すと、これらの演奏は解除され、レンタル演奏になります。

音量の違うディスクを聞きやすくする

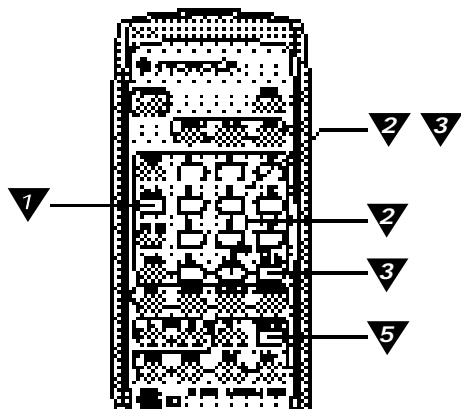
ディスクによって演奏音量が大きく違う場合、ディスクごとの音量調整が必要です。このような場合、音量を自動的に調整して聞きやすくします。

ADLCボタンを押す。

ADLC

ADLCインジケーターが点灯します。
ADLCを解除するには、もう一度ADLCボタンを押します。
ADLCインジケーターが消灯します。

- ディスクによっては、不自然な感じになることがあります。そのようなときは、ADLCをオフにしてください。
- 光デジタル出力の音声は自動調整されません。

応用操作

好きな順番で演奏する

● ***好きな順番で演奏することをプログラム演奏といいます。***
● **最大32ステップまでプログラムできます。**

操作例）第１ステップに2枚目の7曲目を、第2ステップに5枚目の3曲目をプログラムする場合。

1 停止中にプログラムボタンを押す。

"PGM"インジケーターが点灯して、モード表示が消えます。

2 数字ボタンでディスク番号を選び、ディスクセットボタンを押す。

（またはディスクサーチボタンでディスク番号を選ぶ）

3 数字ボタンで曲番号を選び、トラックセットボタンを押す。

（または頭出し／早送り早戻しボタンで曲番号を選びプログラムボタンを押す。）

4 2 ～ 3 を繰り返し、他のディスクと曲をプログラムする。

プログラムした曲の合計時間の計算を終了すると、PGMが点灯しなくなり、下図のようになります。

（積算時間）

5 再生／一時停止ボタンを押す。

プログラムした順に演奏していきます。

● 積算時間表示をする前にこの操作を行うと、プログラム演奏がはじまり、時間表示はしません。

次の操作は通常演奏中、プログラム演奏中、ハイライトスキャン中、プリビアスディスクスキャン中にできます。

演奏中の曲をプログラムするには

（ダイレクトプログラム）

プログラムボタンを押して、プログラムモードにします。

⬇

プログラムしたい曲の演奏中に、プログラムボタンを押します。

演奏中にプログラムするには

（予約プログラム）

＜操作例＞

● 通常演奏中で曲が終了すると、プログラム演奏に変わります。
● すぐにプログラム演奏に変えるには、再生/一時停止ボタンを押します。

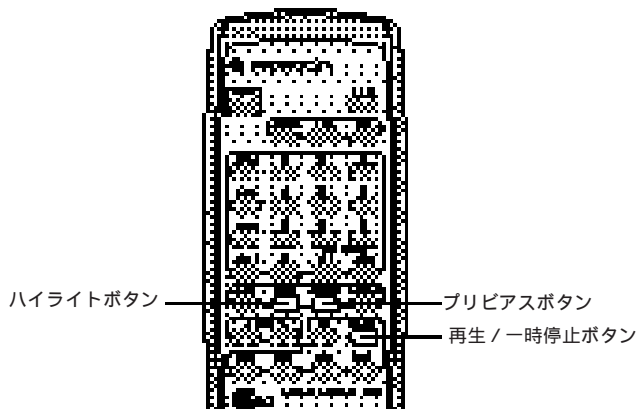
次の操作は停止中だけできます。

ディスクオールプログラム

（ディスク1枚を１ステップとしてプログラムします。）

＜操作例＞

（2 を繰り返して他のディスクをプログラム）
● 選んだディスクの全曲がプログラムされます。

● **入力済みのプログラムを取り消すには…**
演奏停止中に停止ボタンか、ベストボタンを押す。
モードボタン、プリビアスボタン、ランダムボタン、レンタルボタンを押しても取り消すことができます。
● **プログラムを一曲ずつ解除するには…**
クリアーボタンを押すと、押すごとにプログラムは最終ステップから順に消えていきます。ただし演奏中はその曲を含め、すでに演奏された曲のステップを解除することはできません。
● 演奏中にプログラムしたディスクがないか裏返しのとき“＊＊ーno dISC ”の表示後、そのステップを自動解除して次のステップに移ります。（＊＊は、ディスク番号の数字です）
● プログラムした内容は、電源がオフ（スタンバイ）のときでも保持されます。

ディスクの中の曲をすばやく探す

ディスクの中の曲をすばやく探す演奏機能を、ハイライトスキャンといいます。演奏モードに応じてセットしたディスクに収録されている曲の１分後を約10秒ずつ演奏します。

選択された演奏モード	演奏内容
オール(ALL) * シングル(SINGLE) *	全てのディスク（1～25）の1分後を約10秒ずつ演奏。
カスタム(CUSTOM)	カスタムに登録した全てのディスクの1分後を約10秒ずつ演奏。

＊オール、シングルにかかわらず、それぞれのインジケーターが消灯し、全てのディスクのスキャンをします。

<ディスクスキャン>

1回押す

演奏中または停止中にハイライトボタンを押す。

- １枚目のディスクから順に、各ディスクの１曲目の１分後を約10秒ずつ演奏します。

“ DISC ”と "SCAN" インジケーターが点滅します。

<トラックスキャン>

２回押す

演奏中または停止中にハイライトボタンを2回押す。

- １枚目のディスクの１曲目から順に、各曲の１分後を約１０秒ずつ演奏します。

“ SCAN ” インジケーターが点滅

<プログラムスキャン>

１回押す

プログラムモード中にハイライトボタンを押す。

- プログラムした曲を１分後から約10秒ずつ演奏します。

“ SCAN ” インジケーターが点滅

<ベストセレクションメモリースキャン>

1回押す

ベストセレクションメモリー演奏中にハイライトボタンを押す。

- ベストセレクションメモリーした曲を１分後から約10秒ずつ演奏します。

“ SCAN ” インジケーターが点滅

<通常の演奏にするとき>

聞きたい曲で再生／一時停止ボタンを押す。

ハイライトスキャンを解除して、演奏中の曲をそのまま通常演奏します。

- 解除するには停止ボタンを押す。

- トラックスキャン中に頭出しボタン（I◀◀ ▶▶I）でスキップすることができます。(本体部は頭出し／早送り早戻しボタン)
- 全曲リピートモードにすると、ハイライトスキャンを繰り返します。
- １分より短い曲は、曲の初めから約10秒間演奏します。また１曲が10秒よりも短いものでは、曲の初めから最後まで演奏します。

最近聞いたディスクを調べる

最近聞いた順にディスクを並べ変えてディスクの1曲目1分後を約10秒間演奏していく機能を、プリビアスディスクスキャンといいます。最大25枚メモリーされます。25枚をこえると古い順に消されます。

例）１枚目、2枚目、9枚目、12枚目、13枚目の順に演奏したとき

演奏中にプリビアスボタンを押す。

- 13枚目、12枚目、9枚目、2枚目、1枚目の順（最近に聞いた順）に各ディスクの１曲目の１分後を約10秒ずつ演奏します。

“ PREVIOUS ”と "SCAN" インジケーターが点滅します。

聞きたいディスクで再生ボタンを押す。

- プリビアスディスクスキャンは解除され、そのディスクの初めから通常演奏されます。

注意

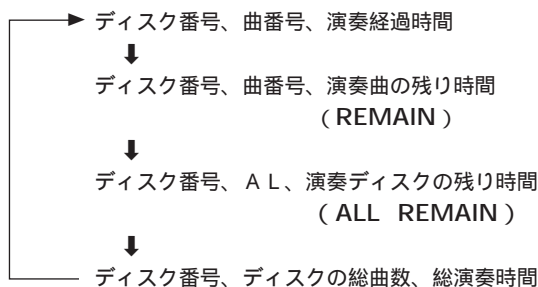
- 解除するには停止ボタンを押してください。
- ランダム演奏、プログラム演奏、ベストセレクションメモリー、ハイライトスキャンで演奏されたディスクは、プリビアスディスクスキャンには含まれません。
- 1分より短い曲は曲の始めから約10秒間スキャンします。また1曲が10秒よりも短いものでは、曲の始めから最後までスキャンします。

応用操作

時間表示を切替える

演奏中にタイムボタンを押す。

押すたびに本体表示部の時間表示が、次のように切り換ります。

ディスク番号、曲番号、演奏経過時間
⬇
ディスク番号、曲番号、演奏曲の残り時間
（REMAIN）
⬇
ディスク番号、ＡＬ、演奏ディスクの残り時間
（ALL REMAIN）
⬇
ディスク番号、ディスクの総曲数、総演奏時間

- TOTAL時間表示はプログラムモードではプログラムステップまたはプログラムの総演奏時間となります。
- プログラム中、ベスト演奏中、ランダム演奏中では、ディスクの残り時間は表示しません。
- 24曲目以降は、1曲の残り時間を表示しないことがあります。

自動的に電源を切る

停止中またはリピート演奏中に、スリープボタンを押す。

本体表示部が暗くなります。

- 押すたびに次のように切り換り、表示時間経過後に電源を切ります。

90分 ➡ 60分 ➡ 30分 ➡ スリープ解除(00)

演奏中にスリープボタンを押す。

（リピート演奏は除きます。）

- 押すたびに次のように切り換り、表示時間経過後に電源を切ります。

オートスリープ(AT) ➡ 90分 ➡ 60分 ➡ 30分 ➡ スリープ解除(00)

- オートスリープとは、演奏中の演奏モードが全て終了してから、約1分後に自動的に電源を切る機能です。
（電源が切れるまでの1分間に再び再生モードにした場合でも、そのまま電源は切れてしまいます。また、オートスリープ演奏中にリピートボタンを押すと、90分のスリープモードとなります。）
- オートスリープ以外のスリープモード演奏中に、スリープボタンを押すと、残量時間の確認ができます。

ディスクの取り扱いかた

■右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると、故障の原因となることがあります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。

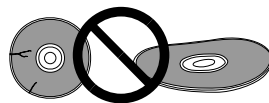
柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット(JV-D11) の使用をおすすめします。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

■ディスクの持ちかた

なるべく信号面にふれないようにしてください。

■保管

- 必ずケースにいれ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

故障？ちょっと調べてください

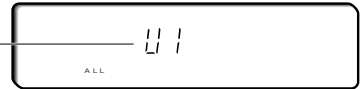
● 故障かな…？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原因と思われること	処　置
音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。
再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● ディスクに大きなキズやソリなどがある。 ● フードが開いている。	● ディスクのレーベル面（印刷のある面）を右側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● ディスクを交換する。 ● フードを閉める。
リモコンがきかない。	● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 新しい電池に換える。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。

● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

自己診断機能について

● 本機は自己診断機能を持っています。
● 本機はご使用中に異常を検出すると、本体表示部に以下の表示（サービス番号）を自動的に表示します。まず、「対応のしかた」にしたがってください。

<本体表示部>

サービス番号	本機の状態	対応のしかた（フードが開く場合）
U1	ディスクがラックに正しくセットされていないと考えられます。	● ディスクを正しくセットし直してください。 （各挿着溝には、一枚ずつディスクをセットしてください。） ● 異物がディスクに付着していないか確認してください。 ● ラックに異物が入っていないか確認してください。
U2	機構部の動作エラーです。	● ラックに異物が入っていないか確認してください。 ● 電源コードをコンセントに入れ直してください。

● フードが開かない場合は、電源をオフするか電源コードをコンセントに入れ直してください。無理にフードは開けないでください。フードが開くようになった場合は、上記の「対応の仕方」を行ってみて下さい。また、フードが開かなかった場合や再度同じ表示が出た場合は機構部の異常と考えられます。修理を依頼されるときに、本体表示部のサービス番号をお知らせください。

仕様

● 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■一般

型式 …… コンパクトディスクオーディオシステム
電源電圧 …… AC100V、50/60Hz
消費電力 …… 10W
本体質量 …… 3.2kg
外形寸法 .. 180（幅）×250（高さ）×268.5（奥行）mm

■オーディオ部

チャンネル数 …… 2チャンネル（ステレオ）
SN比 …… 102dB以上（EIAJ）
出力電圧 …… 2Vrms（EIAJ）

■付属品

保証書 …… 1
取扱説明書 …… 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 …… 1
安全上のご注意 …… 1
リモートコントロールユニット …… 1
単3形乾電池 (R6P) …… 2
ピンプラグ付接続コード …… 1

応用操作
その他

アフターサービス

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間はご購入日から1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
（型番：PD-F25A）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添 「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照）

お客様相談センター		TEL 03－3491－8181			
技術相談窓口	○札　幌	TEL 011－644－4779	○大阪	TEL	06－353－3705
	○仙　台	TEL 022－375－4417	○広島	TEL	082－228－2239
	○名古屋	TEL 052－532－1141	○福岡	TEL	092－441－8076

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア 株式会社　〒153 東京都目黒区目黒１丁目４番１号